

山行計画

黒部五郎岳・薬師岳7月20日夜行(木)～24日(月)

参加者：加賀屋、大沢、佐藤文、一之瀬、三浦、国島、武石、野間。瀧、星野、堀江(11名)

交通機関：7月20日(木)竹橋22:30発

集合：京急横浜駅8番ホーム 20:40 20:47発

21日(金)新穂高温泉－わさび平－秩父沢－シシウドヶ原－鏡平山荘(5:50)

22日(土)鏡平山荘－弓折乗越－双六小屋－双六岳－三俣蓮華岳－三俣山荘－黒部五郎小屋(5:55)

23日(日)黒部五郎小屋－黒部五郎岳－中俣乗越－赤木岳－北ノ俣岳－太郎平小屋(7:35)

24日(月)太郎平小屋－薬師岳山荘－薬師岳－薬師岳山荘－太郎平小屋－折立(8:20)

大雪山縦走8月18日(金)～22日(火)

参加者：前田 大沢 一之瀬 武石 角田 星野

18日(金)羽田空港11:15－旭川空港12:50－旭岳温泉－旭岳青少年野営場

19日(土)旭岳青少年野営場－姿見駅－旭岳－北海岳－白雲岳避難小屋(またはテント)(5:20)

20日(日)白雲岳避難小屋－忠別岳－五色岳－化雲岳－ヒサゴ沼避難小屋(またはテント)(7:40)

21日(月)ヒサゴ沼避難小屋－トムラウシ山－温泉コース分岐－トムラウシ温泉－トムラウシ野営場(テント)(8:50)

22日(火)トムラウシ野営場－新得駅－南千歳－新千歳空港－羽田空港

23日(水)予備日

飯豊山8月上旬 計画中(野間)

苗場山8月上旬 計画中(佐藤文)

劔岳北方稜線9月11日(月)～14日(木)(前田)

参加者：前田他1名

*参加者がいれば一般ルートから劔岳も検討

北八ヶ岳9月24日(日)夜行バス～26日(火)(武石)

詳細は後日

参加者：吉田 一之瀬 武石

山行報告

涸沢5月6日(土)～9日(火)(記録・角田)

5月6日～5月9日(角田・生艸・吉田元・石原栄・砂川朝・砂川秀・渡邊伸・三ノ宮)

4月25日(金)

京急富岡駅で生艸さんと待ち合せて前田副会長の自宅ですキー用のストック2本を借りる為に伺う、

そこで今回の上高地の登山につき講習を受ける。

5月6日(土)

6時戸塚駅で生艸さんと待ち合せ、6:16発湘南新宿ラインで新宿駅へ向かい、7:30発の特急あずさ3号座席指定で松本駅へ、松本電鉄に乗り換え新島々駅へ向かい、駅で上高地バスセンター行に乗り換える。

12:40頃着き、前田副会長に予定どおり会える。

13:00頃出発、小雨の中を横尾へ3人で向かう。

16:00頃着き二人は横尾小屋へ入室手続きをする。風呂は男16:00、女17:00から各60分、18:00から夕食になり二人で食後テント場へ向かい8人と合流してミーティングに参加、30分くらいいて横尾小屋に戻り床に着く。

5月7日(日)

横浜尾小屋の朝食7:00、食後二人でテント場へ行き十人全員で8:00頃涸沢へ出発、2時間後アイゼンを付ける、それから涸沢ヒュッテの屋根がかすかに見える所に着くまで3時間かかる。

その後ヒュッテに着くまで砂川氏の御奥に先導していただきやっことことでたどり着くことが出来ました。

ヒュッテのテラスからの展望すばらしさに圧倒され、晴天のよさも加わり私がいままで登山した山々の中でこの様なすばらしい風景があったらと思うました。

夕食の後、全員が談話室でミーティングを行ない1時間くらい過ごし、その後床に着きました。

5月8日(月)

朝食後10人で横尾へもどるため出発、アイゼンを付けて3時間下山してアイゼンをはずし歩く。

予定より早く横尾に着いたので一つ先の徳沢まで進む。

私達二人は徳沢園に入室手続きを行ない、風呂に入って夕食を6時にとりテント場に行き最後のミーティングに参加して1時間ぐらい過ごす、その後徳沢園に帰り床に着く。

6日(土)から9日(火)の(P2-1)組(角田、生艸)は7日から9日の3日間は晴天に恵まれ最高の条件で上高地を楽しむことが出来ました。

5月9日(火)

徳沢園の朝食7:00、食後二人でテント場へ向かい8:00頃バスセンターへ向かい、私達三人は上高地からタクシーで60分で松本駅へ着き、昼食を駅で取り特急あずさで新宿へ向かう。

新宿駅から湘南新宿ラインで戸塚駅に向かい戸塚駅で生艸さんとわかる。

雪稜祭・世附川ロッジ6月17日(土)～18日(日)

大野山～丹沢湖6月17日

(記録：野間、写真：佐藤文、山下、池田)

2017年6月17日(土)～18日(日)雪稜祭は、世附川ロッジに15時に集合で、直行組と集合前に大野山登山をする組とに分かれて、行われました。この記録は、大野山から丹沢湖の山行記録です。

参加者：13名

吉田 高橋英 加賀屋 大沢 鈴木 佐藤文 一之瀬
三浦 国島 前島 瀧 堀江 野間

集合時間：御殿場線 谷峨駅 9時10分

コース：御殿場線 谷峨駅(9:25)→大野山ハイキングコース(9:44)→(11:11)休憩所 昼食(11:30)→(11:47)大野山(723m)(11:58)→湯本平分岐(12:17)→丹沢湖(14:43)

梅雨入り宣言はされていましたが、快晴の下、かなりの暑さが予想される中、定刻に谷峨駅に全員集合。御殿場線はICカードが使えなく、さらに谷峨駅は無人駅でした。

いざ、出発9:25。駅から大野山へのおおよその経路は、会長さんからの説明で、御殿場線の北側に少し目立っている白い建物の所を通り、周りの木立とは異なる草原のような場所を登って行く先に大野山があるとのこと。駅から御殿場線と国道246号線に架かる高架橋を渡り、酒匂川を左に見ながら歩く。

川をまたいでいる東名高速道路が見渡せるところを通り

り、舗装道路を歩いて行くと左側に、大野山ハイキングコース(9:44)との表示のあるところから登山道に登って行く。登山道に入ると、周囲は木々に覆われていて、日に照らされることなく登って行けた。

歩き始めて30分ぐらい経ったところに、「大野山55分」の標識。そこには「かながわの古道50選 奥山家古道(おくやまがこどう) 都夫良野付近」と書かれた大きな解説板が設置されていた。

「頼朝桜」、や「都夫良野」の説明が書かれていたが、通り過ぎると、大野山(トイレ100m)の標識。

頼朝桜は山北町都夫良野にあるヤマザクラで、「新編相模国風土記稿」に挿絵とともに掲載されている名桜であるとのこと。

源頼朝がここを通った際、杖をついて休んだところ、その杖が根付いてこの桜になったという伝承が残るとの説明があった。桜の頃に来ると見られるのかなと。

林道を離れ、「大野山山頂」の標識の通り、トイレの脇の道を登って行くと、左側に遠くに山並を眺められた。しばらくすると、また、「大野山55分」の標識??? 歩き始めて45分位立ったとき、小休止。三浦さんがドイツに行かれた時のおみやげのチョコをいただいた。

一息ついて、歩き出すと、左の空に山頂に雪をいだいた富士山が晴れた空にくっきり浮かんでいた。



「大野山40分」の標識。車道を渡ると右手に東屋(10:30)。無人販売の手作りジャムが置かれていた。この東屋を過ぎると、草原のようなところを太陽の日をまともに受けて登って行く。

途中、ワラビが自生していたので採集しながら。

また、富士山が見え、富士山から左に目をやると、大きな双耳峰が視野に入った。越前岳と位牌岳とのこと。

富士山を眺めながら登って行くと、「休憩所 15分」の標識が出てきた。

登山道の傍らに、「スカイツリーと同じ標高 634m (ムサシ)」の場所を表示するウサギの形をした標識が出てきた。ここを登って行くと、椅子やテーブルがある休憩所に来たので、山頂は日陰になるところもないとのことで、この展望のよい屋根のあるところで昼食をとることにした (11:11)。休憩所の目の前に富士山が眺められ、眺望満点。

日陰でもあり風が通って、今までの汗も吹き飛んだ。20分位休んで、11:30に出発。「

大野山山頂」の標識に従って登って11:47山頂に到達。「大野山」山頂標識が3本の丸太を立てたようなデザインで、近くに木彫りのシカが2頭置かれていた。

富士山をバックに全員で写真撮影。



大野山山頂

11:58山頂を後にして、丹沢湖に向かって下山。「これからは、下りるだけ」と思って出発。

遠くの山を見渡すと、煙のように見えるものは箱根の大涌谷の噴煙とのこと。

登ることはないと思っていよいよ下山開始。

湯本平分岐 (12:17)。標識に大野山 (1.4km) と三保ダム (5.4km) と書かれているのを見て、三保ダムを目指していくことを再認識。丹沢湖と表示されるのかと思いましたが、行先は三保ダム。

ハイキングコースの指示に従って、急こう配の坂をひたすら下りていく。

次は、三保ダム (3.4km)。しばらくすると、思っても

いなかった登りそして下り。三保ダム (2.7km)。滑り落ちないようにロープがあるところもあった。

三保ダム (1.8km)。13:49水の補給。次は、登り。三保ダム (0.8km→0.6km→0.4km→0.2km)。

とかなり細かく標識があった。そして、最後、「丹沢湖大野山線 大野山 6.7km」と表示された所に到着 (14:43)。出入り口に時計台があった。が、表示されている時間が表と裏で違っていた。

「山を降りたら、まずは、ソフトクリーム」と言いながら降りてきたので、食べられる場所を探し、「丹沢湖記念館」まで歩いて、念願のソフトクリーム (ケース入り) を手にし、一休み。

その時に、前田さんと山下さんの車が到着。全員車に乗り、一路、世附川ロッジへ。(余談:前田さんの車に我々は荷物として乗車 ((笑))

山は新緑の木々の色が晴れた空に映え、富士山も眺められ低い山でしたが、登り下りの繰り返しもあり変化に富んだ山行だったと思います。

世附川ロッジ (写真: 山下、池田、佐藤文)

登山組: 吉田 高橋英 加賀屋 大沢 鈴木 佐藤 一之瀬 三浦 国島 野間 前島 瀧 堀江 (13名)
直行組 (車3台利用・買出し): 前田、吉田正 角田 山下 生艸 砂川朝 砂川秀 吉田元 (8名)
直行組 (バス利用) 池田

会計報告 会費 22名×5000円=110,000円

世附川ロッジ支払: 42,228円

BQ食材、飲み物: 45,100円

車代3台×5000円=15,000円

支出計: 102,328円

残金: 7,672円

残金は雪稜会会計に入金させていただきました。

メニュー: 鮭のちゃんちゃん焼き、バーベキュー (海老、ホタテ、カルビ、アスパラ、トウモロコシ、しいたけ等)、焼うどん、焼そば、トマト、すいか 前島さんよりハム、ベーコン、池田さんよりワインをいただきました。

17日は23時まで18日は5時から談笑が続きました 感想・反省点は集会記録を参照してください



15:53



16:18



16:51



16:54



20:08



20:42



17:12



20:13



8:41

北岳 6月23日(金)～24日(日)

参加者：山下

23日、寝坊したため5時半のバスに間に合わず
7時10分の乗合タクシーで広河原に8時到着。

そこで情報収集し、8時半に広河原を出発。
白根御池小屋一草すべりー小太郎尾根分岐一肩の小屋まで休憩も含めて6時間半、15時に宿に到着しました。
24日が開山祭りということで、肩の小屋ではワインが振舞われました。

当日の宿泊客は20名。

1組以外が全て単独行の方で、おひとり様天国でした。

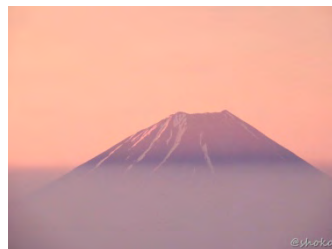
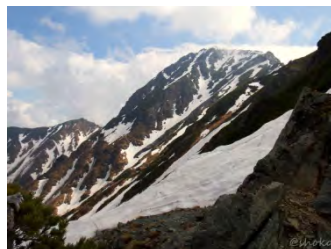
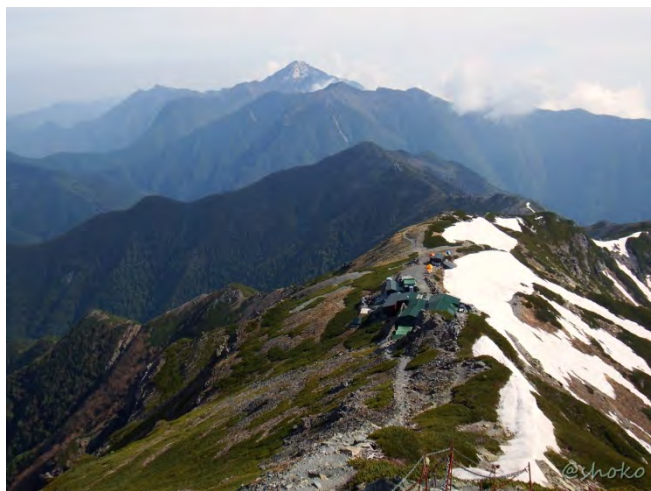
24日は朝5時半に登山開始で6時20分ごろ登頂、
それから八本歯のコル付近までキタダケソウを見に下り
肩の小屋に8時過ぎに戻りました。

そして帰りは、小屋を8時45分に出発し、小太郎尾根分岐から二股・大樺沢の雪渓を下って、約4時間、13時頃に広河原に到着です。

本当は登りで大樺沢ルートを通りたかったのですが今年は雪が多く危険だから通らない様にと待機しておられた山岳連盟の方から注意されたので残念ながらキツイ草すべりコースで登りました。

宿に宿泊された方の中には、それを知らずに大樺沢から登ってこられた方がいらっしやったので、私も帰りはそちらのコースを下ってみました。

急登ばかりで足もガクガク、きつかったですが両日とも良い天気恵まれ、最高の山行でした。



集会記録（一之瀬）6月12日（月）18:00~20:00

出席者：吉田、前田、鈴木、加賀屋、大沢、佐藤文、
一之瀬、国島、三浦、武石、野間、瀧、角田、
星野、堀江、山下

2. 山行報告

特に無し

2. 山行計画

① 雪稜祭・世附川ロッジ

- ・持ち物等の確認
- ・雨天時の変更 新松田駅 14:25→丹沢湖 15:15
- ・食材の変更 前島さん差入れのハム等がたくさんあるので、ステーキは無しにする。
- ・足元注意。サンダル等があると良い。
- ・車組：東戸塚 10:00 西口ロータリー集合
乗車希望者も6・7人は乗れる。

② 夏山 黒部五郎岳・薬師岳（一之瀬・瀧）

- ・参加者名簿（バス）の記入
- ・バス・山小屋・タクシー、11名で予約済。
- ・登山計画について
リーダー（武石）サブリーダー（国島）

会計（瀧・三浦）

共同装備：武石、瀧、星野、堀江

タクシー代（4,500円）、7月集会で集める。

20日集合：京急横浜 8番 20:40 発 20:47

③ トムラウシ (前田)

日程：8月18日（金）～22日（火）

- ・参加者：前田、大沢、一之瀬、星野、角田、（武石）
- ・大雪山・トムラウシ縦走コースで行う。
- ・7月、航空券・タクシーの手配をする。

④ 八ヶ岳 (武石)

- ・夜行一泊で、茶臼岳、北横岳方面に行く。
- ・日程 9月15日（金）～17日（日）
- ・コース概略 八ヶ岳山荘、赤岳鉱泉、硫黄岳から、天狗岳、茶臼山、北横岳方面

3. その他

水分補給について (前田)

基本の計算式（軽装・整備された道を歩く）

体重×行動時間×5＝脱水量

応用：さらに軽いハイキング：脱水係数を3～4

重荷・長時間の行動：脱水係数を6～8

体質の違い：汗をかきにくい・かきやすい。

許容：体力や経験等により違うが、一般的な人は、体重の1%までは、脱水の許容範囲になる。

ex：体重50kgの人なら、500ml

それらの条件を考えて、最適な水分補給をする。

集会記録（一之瀬）6月26日（月）18:00～20:00

出席者：吉田、前田、高橋英、鈴木、大沢、佐藤文、一之瀬、国島、三浦、武石、野間、瀧、角田、星野

1. 山行報告

① 雪稜祭 6月17日（土）～18日（日）

○大野山～丹沢湖 登山組 (吉田)

谷峨駅で精算に時間がかかり、出発が少し遅れた。大野山までは、山菜をとりながら登った。大野山からは、急登。急下降が続いた。2:45 丹沢湖に着いた。迎いの車で、ロッジに向かった。

○買い出し組 (前田)

買い出しリストと簡単な調理法を書いて、野菜は

文してくれた。人数の7掛け位で用意した。

○会計 (瀧、三浦)

収入：5,000円×22名 110,000円

支出：食材、ロッジ、車代他 102,328円

残金：会に寄付 7,672円

○感想・反省点

- ・キャンプ、バーベキュー、久しぶりで楽しかった。
- ・準備大変だったのでは？みんなでやった方が良い。
- ・もう少し早く始めたい。皆の手伝いがほしかった。炭火になるまでに時間がかかる。火おこし早く。
- ・飲み物は、お酒以外のものももう少し多く。
- ・ロッジ、トイレがきれいになっていた。
- ・大きい冷蔵庫があり、貸し切り状態で良かった。
- ・丹沢湖へのルート、きつかった。
- ・帰りは、30分位でバス停に着いた。
- ・車に同乗させてもらい、良かった。

② 北岳 山行 (山下)

6月23日（金）～24日（土） 開山祭り

広河原～小太郎尾根～肩の小屋～北岳

下山は、大樺沢の雪渓を下った。

2. 山行計画

① 夏山 黒部五郎岳・薬師岳 (一之瀬・瀧)

- ・バス代の集金
- ・山行の確認

② トムラウシ (前田)

日程：8月18日（金）～22日（火）

- ・参加者：前田、大沢、一之瀬、武石、角田、星野
- ・大雪山・トムラウシ縦走コースで行う。
- ・トムラウシ温泉の宿泊を考える。
- ・食料は、軽量のものを共同で用意する。
- ・嗜好品は各自で用意。
- ・参加希望者は、次回集会まで。

③ 北八ヶ岳 (武石)

- ・半泊付きの夜行バスの運行日程から決めた。
- ・日程 9月24日（日）夜行～26日（火）
- ・コース 八ヶ岳山荘→赤岳鉱泉→硫黄岳→夏沢峠0044 z 4→根石岳→東天狗・西天狗→唐沢鉱泉泊→渋の湯→冷山→大石峠→茶臼山→縞枯山→雨池山→三ツ岳→北横岳→坪庭ロープウェイ利用→バス・J

前日に調達した。魚介類は、砂川さんが南部市場に注
R茅野駅

④ 劔岳 (前田)

・ 9月11日～ 3泊4日 北方稜線

⑤ 8月上旬の山行 飯豊本山 (野間)

山行を希望する山

11月 上旬 玄倉～ユースン溪谷～塔ノ岳～大倉尾根
(歩行時間 8:40) ,

大岳山 (高橋泰)

丹沢三峰

本社ケ丸 (吉田)

三ツ峠山 (吉田)

三斗小屋温泉

百蔵山・扇山

秋 北八ヶ岳 (佐藤文)

谷川連峰馬蹄形縦走

谷川岳～平標山

棒ノ折山 (高橋泰)

集会日 場所 県民サポートセンター

7月10日 (月) 602号室 18:00～20:00

7月25日 (火) 602号室 18:00～20:00

8月7日 (月) 601号室 18:00～20:00

8月24日 (木) 603号室 18:00～20:00

8月21日 (月) は山行日と重なるので変更しました

9月4日 (月) 602号室 18:00～20:00

9月25日 (月) 602号室 18:00～20:00

10月6日 (金) 303号室 18:00～20:00

10月23日 (月) 603号室 18:00～20:00

11月6日 (月) 603号室 18:00～20:00

11月20日 (月) 1503号室 18:00～20:00

12月18日 (月) 603号室 18:00～20:00